

ネット型メロン（アンデス等）ハウス・トンネル栽培

栽培体系

ベタがは黄化等
(活着後遅れないよう除す)

早熟えは保温性高いビニール

<有機物+深耕>

(ハウス地這い)

(大型トンネル)

(セル苗ハウス抑制)

○...播種
△...定植
□...着果
■...収穫

花芽分化 30~35 → 着果 ←0→ 肥大ネット 15 → 糖度上昇 40 → 収穫 48~50日

病害

- ・多雨低温期は先手の予防
- ・アブラムシ、ハダニは着果20日頃から徹底防除

← ベと病・斑点細菌病 →
← つる枯病・アブラムシ・ハダニ・斑点細菌病 →
← 苗立枯病・タバエ →

健苗・深耕・適期作業で高品質生産！
目標収量：3,000kg 秀品：75%以上

・種子量 650粒
・栽植株数 510本 (1.7本/3.3㎡)
うね幅：270cm
株間：70cm
※抑制アンデスはセル苗利用(50穴)<4.5cm角5cm深さ>

施肥例(土畑・抑制は減肥する)

肥料名	数量(Kg)	成分(Kg)
良質堆肥	2,000	N:5~7
苦土石灰	60	P:15~20
苦土重焼燐	20	K:5~7
メロン専用	100	

全量基肥

草勢を見ながら(液肥2号または、燐焼安加里S604等即効性肥料)

PH6.8以上では、過磷酸石灰、畑のカルシウム等を施す。

栽培上のポイント

- 育苗準備
 - ・床土は、消毒を徹底し、早め、多めに準備(pH6.0~6.5, ECD.3~0.7)
 - ・電熱線は、早めにし、ためしまきを行い、温度をチェックする。
 - ・ビニールは新品を用いる。(無滴のもの)
 - ・セル苗使用の場合は、50穴トレイを準備。
- 播種(発芽適温28~30℃)
 - ・発芽後は日光を十分に当てる。
- 鉢上げ
 - ・鉢上げ時は前日にかん水し地温を上げておく。(鉢床で25~27℃)
- 育苗管理
 - ・灌水は晴天日の午前中に少量ずつ行なう。
 - ・本葉3枚時に摘心し、生育に応じて鉢を広げ日光を十分に当てる。
 - ・定植7日前頃から夜温を下げ順化を徹底。
 - ・斑点細菌病のつる枯病を予定する。
- 定植準備
 - ・定植15~30日前に良質堆肥を施し十分深耕する。
 - ・マルチ、トンネルは定植10日前に実施し、地温16℃を確実に保持する。
- 定植「暖かい日」
 - ・ベッド水分が均一になる様に湿らせる。
 - ・鉢土を崩さない様に丁寧に浅植えし、活着を早める。
 - ・(カンカ一予防)
- 整枝(子づる2本オールバック仕立て)
 - ・晴天の日の午前から基本です。
 - ・孫づるは小さいうちに摘み取る。
- 着果・摘果
 - ・鶏卵時にやや長めで大きさの揃ったものを株当たり4個残す。(遅れない様に)
 - ・抑制は2~3個とする。
- ハウス・トンネル管理
 - ・温度は、15~28℃とし、蒸し込み厳禁。開花数日前〜着果後15日は、最低15℃保持し、日中は25℃で換気する。
 - ・糖度上昇期は根が消耗する為夜温を下げて、通風を良くする。
- かん水・追肥
 - ・着果期までは、出来るだけ少量とし、根の伸長を促す。
 - ・着果後はかん水量を増し草勢を見ながら、追肥を施すが、30日頃から減水する。
- 収穫
 - ・糖度14℃以上と食味を確かめ、果実の温度が低い午前中に収穫する。
 - 8~10節までの孫づるは早めに摘除。先端の子づるは根の活力維持に伸ばす。